

消費生活むろしま

(公社)広島消費者協会会報

発行日 令和5年12月15日
 発行 (公社)広島消費者協会
 広報紙編集委員会
 発行部数 1000部
 広島市中区基町6-27
 アクア広島センター街8階
 広島市消費生活センター内
 TEL・FAX (082) 225-3320

令和5年 公益社団法人広島消費者協会通常総会

日 時：令和5年6月5日(月) 13:00~15:30 場 所：広島商工会議所 202号室

受賞おめでとうございます

このたび、当協会での活動により、お二人が表彰され、総会で受賞報告や表彰状の伝達が行われた。

川原直毅監事が広島市政功労者（産業経済発展功労）として表彰された。



原公子副会長が消費者庁からベスト消費者サポーター章を受賞された。



記念講演

演 題 安心・安全な取引社会の形成
 ～悪質不動産取引等と意思形成過程

講 師 広島大学名誉教授・弁護士

鳥谷部 茂氏

不動産取引という普段あまり聴けない分野の情報であり、とても興味深いお話だった。契約前に信頼できる人や機関に相談するなど慎重に検討しよう。

〈概要〉悪質不動産取引は、原野商法、造成地商法、なりすまし登記、地面師詐欺などがある。2019年には消費者契約法が改正され、不当勧誘行為や不当な契約条項が追加された。しかし、不動産の登記については現状では自分で管理し、被害予防することが重要。困ったときには家族・知人や消費生活センター等へ相談することが大切。




ライフスタイルを見直そう
会長あいさつ

令和5年度消費者月間における統一テーマとして、「デジタル社会の進展と消費者の暮らし」が掲げられました。デジタルの活用は今後ますます重要になり、私たちにはこれを使いこなす力の格差が大きな課題になってくると思われまます。その克服にはデジタルに対して理解を深める、情報モラルを醸成する、継続的に学習することが必要となります。私たち消費者は、自己啓発や学習機会を捉えて継続的に学び続けることが求められています。

公益社団法人広島消費者協会 会長 栗原 理

総会議題

令和4年度事業報告・決算報告について、出席会員の過半数の賛成をもって承認された。

令和5年度 運動方針と決議事項

運 動 方 針

- 1 消費者の権利確保のため、国、自治体、事業者との相互理解を深め、積極的な情報開示を求めた取り組みを強化する。
- 2 SDGsに取り組み、ライフスタイルを見直すとともに、調査研究や監視機能を高め、消費者啓発・教育の観点から消費者の知るべき情報を積極的に発信する。
- 3 暮らしの中で起こる消費者問題に対し、情報を選択する確かな目を養い、自ら判断し行動する「消費者力」を高める。
- 4 人材の発掘と育成を目指し、会員以外の人たちに協会活動への積極的な参加を呼びかけ、地区活動の充実と組織の活性化を進める。

決 議 事 項

- 1 国、自治体、事業者との積極的な対話をとおして、相互理解と信頼に基づく活動を展開しよう。
- 2 暮らしの安全を見直すとともに、「もったいない」を常に心がけ、環境に配慮した消費生活を送ろう。
- 3 地区情報紙やwebサイトをとおして、魅力ある活動を積極的に情報発信し、活動の輪を広げよう。
- 4 地区活動や研究グループをとおして、人材を育成するとともに、他団体との連携を深めよう。

令和5年度各地区の活動目標

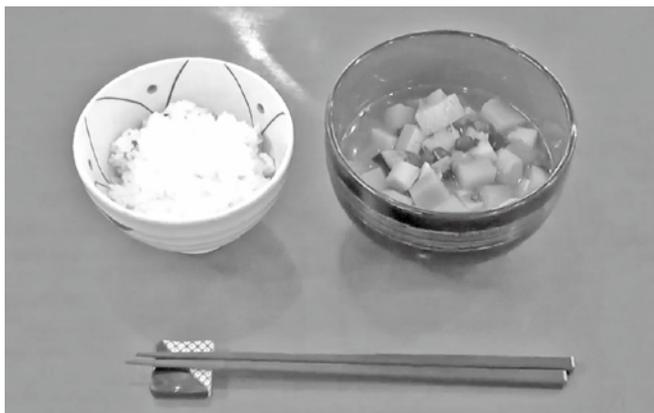
区	地区名	活 動 目 標
中	千田	・時宜に合った活動を通して協会の求心力を高め、会勢の拡大に努める。
東	戸坂	・会員の高齢化で存続が危ぶまれるところであるが、協会活動に積極的に参加し、消費者力を高める。
西	観音	・セミナーの実施や研究グループの活動を通して地区活動の活性化を図る。これらの不断の活動から会員の増加につなげる。
安佐南	西原	・生活者（一般消費者）の視点を共有できるように必要な場へと出向くよう努力する。 ・個人の思い、気付きを組織として発信できることを目指す。 ・公的施設とのコミュニケーションをより密に取っていく。 ・早い段階から消費者大学の位置付けをPRする。 ・異世代間での交流を活発にするため、教育機関で実施されている行事に参加していく。
安芸	安芸	・現代の消費生活における多様な課題を見だし、知識・教養を会得し会員相互の交流を図り資質向上を目的とする。 ・地区活動を充実させ会員増に繋げる。

広島消費問題研究会シンポジウム

広島県西部地域には、小豆や野菜を使った郷土料理「煮ごめ」がある。しかしそれを知る者は徐々に減少している状態にあることがわかった。そこでこれを継承するため、2023年10月7日(土)、広島文化学園短期大学において、同短大食物栄養学科およびJA広島市ならびに本協会が協働し、「煮ごめ」の調理実習を行なった。実習後は試食会を設け、異世代の参加者皆が笑顔のうちに感想を述べ合った。



この異世代交流事業をとおして、地域文化の継承、地産地消に関する新たな知見が得られた。これらを広く周知し、地域文化を継承することの意義や、CO₂排出量の削減課題を共有するため、11月19日(日)、サテライトキャンパスひろしまにおいてシンポジウムを開催した。参加者は53名であった。



このシンポジウムでは、広島文化学園短期大学食物栄養学科の村田美穂子教授による「広島県の郷土料理『煮ごめ』から考える食文化の伝承」と題した基調講演に続き、JA広島市組合員であり農事組合法人ヨシヤマの野稲正至氏、同短大の小石川たばさ氏、花岡真沙氏、山下ゆい氏、広島県菓子工業組合の大谷博国氏、本協会の栗原理によりそれぞれの立場から報告がなされた。

村田教授は、「食べることは生きること」とされ、郷土料理が食文化として伝承されてきた理由もそこにあり、自然を尊重した和食がユネスコ無形文化遺産にも登録されていると紹介された。野稲氏からは化成肥料を不使用の小豆栽培に取り組んでいること、選別は市内の社会福祉法人に依頼していることが報告された。学生の皆さんからは「煮ごめ」のレシピ調査から完成に至る研究過程が報告された。大谷氏からは、中国山地がかつて小豆の産地であったこと、和菓子にとって小豆は重要で地産地消をさらに進めたいとの旨が報告された。栗原はSDGsに触れ、家畜の肥育には多くのCO₂が排出され、地球環境のためにも食生活を見直す必要があるのではと指摘した。



※今回の取組みは、広島文化学園短期大学食物栄養学科のホームページでも紹介されている。

地区活動

安芸地区開催講演会

日 時：令和5年9月30日(土) 10:00～11:30

会 場：船越公民館

講 師：ひろしま安芸相続手続支援センター

代表 椎野直子氏

(ファイナンシャルプランナー)

テ ー マ：「え？ そうなの？ 相続と老後資金」

参 加 者：10名（安芸地区会員4名、一般6名）



相続人は誰なのか、何が財産（遺産）なのか、相続税がかかるのかを知り、これからの生活について、大まかなライフプランを立てた。今後必要に応じてライフプランは見直ししながら、財産を有意義に使って、生活を少しでも充実させたいと思った。

地区ごとに様々な講座・視察などを企画・実施しています。多くの方の参加を歓迎しています。

戸坂地区施設見学会

日 時：令和5年10月11日(水)

見 学 先：メリィハウス西風新都、メリィホスピタル、メリィデイズ

参 加 者：戸坂地区会員10名

施設を見学し、介護保険制度の仕組みや有料老人ホーム、病院、サービス付き高齢者向け住宅の実情について学んだ。

消費者大学

テ ー マ：「消費者力」を獲得して「かしこい消費者」を目指そう！

日 時：令和5年10月21日～12月9日 毎週土曜日 13:30～15:30 全8回

場 所：広島市消費生活センター研修室

主 催：広島市消費生活センター

(受託：(公社)広島消費者協会)

定 員：各回30名

内 容：消費者の役割、契約、インターネット、生活設計、食生活、衣生活、くらしの安全、環境



私達は日々、無意識のうちに消費社会の中で生活している。

正しい知識を有すると共に最新の情報をひとりひとりが得ることは不可欠といえる。

様々な出現する課題に対し、専門的な思考をこの機会に習得していくことを目的に本年度も充実した内容で開催した。

消費者のつどい

日 時：令和5年11月15日(水) 13:30~16:00 場 所：サテライトキャンパスひろしま
 参加者：(公社)広島消費者協会 会員8名

消費者団体の活動報告として、JA広島県女性組織協議会から中四国地区全体での研修会などの報告があった。NPO法人消費者ネット広島からは、被害回復を請求できる特定適格消費者団体の認定を目指し、不当な契約や勧誘、商品表示等に関して消費者からの情報提供を求めているなどの活動報告があった。他団体の活発な活動に大いに刺激を受けた。

また、生活経済ジャーナリスト、ファイナンシャル・プランナー いちのせかつみ氏の講演では、お金に関して、常に自分もねられるという意識をもち、自分自身勉強し、悪い人たちを遠ざける生活を心がけることが大切だと、楽しい話術で教えていただいた。

環境先進企業視察会

日 時：令和5年9月12日(火) 10:30~15:00
 視 察 先：周南コンビナート脱炭素推進協議会、出光興産(株)徳山事業所
 主 催：広島商工会議所、ひろしま地球環境フォーラム
 参加者：(公社)広島消費者協会 会員1名

国のすすめる2050年カーボンニュートラルに向け、周南コンビナートの脱炭素化に対してその取り組みを学習する機会であった。火力発電で使用していた石炭の一部をアンモニアに代替する体制づくりに乗り出し全国に先駆け、その構造変革に動いているとの話。「水素・アンモニアの商用サプライチェーン支援制度」が成立し、アンモニア輸入・供給拠点として活用・整備されることが検討されている。

エネルギーシステムはあまりにも専門的すぎてとっつきにくいイメージがあるが、消費生活者として必要な知識や多様な地域のあり方を深める努力は今後より重要になることと感ずる。



家電公取協との消費者懇談会

主 催：(公社)全国家庭電気製品公正取引協議会
 製造業部会中国支部
 日 時：令和5年9月29日(金) 13:30~15:40
 場 所：TKP広島本通駅前カンファレンスセンター
 参加者：(公社)広島消費者協会 会員3名

家電製品の広告表示等に関して、日常の消費で体験した様々な課題や疑問について、意見交換した。広告表示の仕方は各店舗で異なり、消費者はよく読んで賢い選択をしなければいけないと痛感した。



ごみゼロ・クリーンキャンペーン

日 時：令和5年4月16日(日) 9:00~9:45
 場 所：きれいなひろしま・まちづくり市民会議
 コー ス：平和記念公園
 参 加 者：(公社)広島消費者協会会員ほか13名

前日の雨が大気をクリーンにしてくれて爽やかな快晴の朝、新規会員や一般の方も加わって平和記念公園周辺を楽しく清掃した。今年はG7広島サミット開催に合わせて時期を早めて行われたキャンペーン。サミット開催に少し貢献できた。



マスクの下はみんな笑顔です。

消費者力向上キャンペーン in マツダスタジアム

主 催：広島市消費者月間事業実行委員会
 日 時：令和5年5月25日(木) 14:30~
 場 所：マツダスタジアム
 参 加 者：(公社)広島消費者協会会員 6名



「広島東洋カープ 県・市合同応援デー」に合わせ、マツダスタジアムのゲート内で、消費者被害防止等を啓発するカープ応援うちわの配布や、啓発ブースで消費生活に関するクイズやアンケートを実施した。



中国チェッカーフェスティバル

主 催：(株)中国シージーシー
 日 時：令和5年6月29日(木) 11:00~16:00
 場 所：西区民文化センター
 参 加 者：(公社)広島消費者協会から審査員 2名

レジチェッカーが日ごろの実技を競う大会に審査員として参加した。7社18名が出演。実演者から真剣な気迫が伝わってきて、接客対応向上に日々努力されている姿がうかがえた。本大会の最優秀賞3名が全国大会に出場される。



管内新製品開発コンクール審査会

日 時：令和5年11月1日(水) 13:00~16:00

場 所：広島合同庁舎4号館

主 催：法務省広島矯正管区

参 加 者：(公社)広島消費者協会から審査員1名

刑務所作業新製品の開発を促進するとともに、刑務作業における生産技術の向上を図ることを目的として行われている当コンクールには、毎年、当協会から審査員として参加している。



「ごみ減らそうデー」店頭キャンペーン

広島市ごみ減量・リサイクル実行委員会で、毎月1日を「ごみ減らそうデー」として、スーパーマーケットの店頭で、市民・事業者・行政が一体となり、市民の皆様にごみ減量や食品ロス削減の取組を呼びかけるキャンペーンを行っている。当協会も市民の立場から参加し、買い物に来られた方にごみ減量の意識についてのアンケートをお願いしている。

右の看板をご覧ください。ぜひご協力をお願いしたい。

なお、アンケート結果は「ごみ減らそうデー実施報告」として広島市のホームページでご覧いただける。



毎月1日 広島市
はごみ減らそうデー

食品ロス削減イベント「スマイル！ひろしま広場」

令和5年10月29日(日) 11時~16時、広島駅南口地下広場で「スマイル！ひろしま広場」が開催され、広島消費者協会もお手伝いとして3名が参加した。

クイズラリーやフードドライブ、エコクッキング、ゲームコーナーなどがある中、消費者協会は「食品ロスをなくそう宣言」コーナーを担当した。

幼児から高齢者まで幅広い世代の方、約200人が付箋に宣言を書き、ボードに貼り付けた。



賛助会員様との連携

当協会では、多業種の企業や団体に賛助会員として加入していただき、多くの支援とさまざまな情報の提供や指導をいただいています。厚く感謝申し上げます。

今後とも、事業者の皆様と連携を図りながら、対話をとおした協力関係を基に事業を推進してまいります。

また、より多くの事業者の皆様へ賛助会員としてご加入いただき、ご指導、ご助言をいただきたいと考えています。〔詳しくは (公社)広島消費者協会ホームページへ〕

【賛助会員様との連携活動の例】



〈広島ガス株式会社様との定例懇談会〉

毎年、施設視察や実験、事業説明、意見交換等を行い、生活に大きく関わるエネルギーのしくみや事業についての理解を深めています。



〈亀齢酒造株式会社様との産地視察交流〉

歴史ある東広島市西条の日本酒について、特徴やラベルに表示される情報などを学びました。

一緒に消費者活動してくださる方を大募集中です。

会費：年間1,000円

問合せ先 公益社団法人 広島消費者協会 事務局

730-0011 広島市中区基町6番27号 アクア広島センター街8階

広島市消費生活センター内

TEL・FAX (082) 225-3320 eMail : hirosho@violin.ocn.ne.jp

URL: <http://wwwhirosho.web.fc2.com>

